

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第10週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第10週分 3月4日～3月10日（3月13日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：329人、定点医療機関当たり6.85人、新規患者推計値※：1,553人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

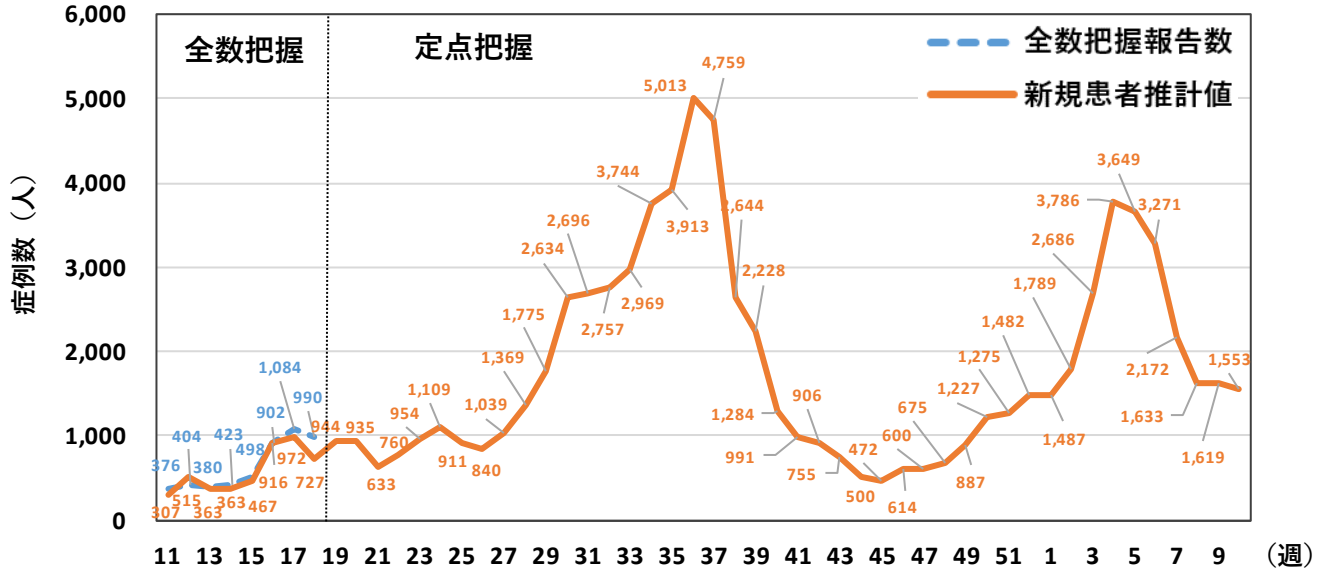


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

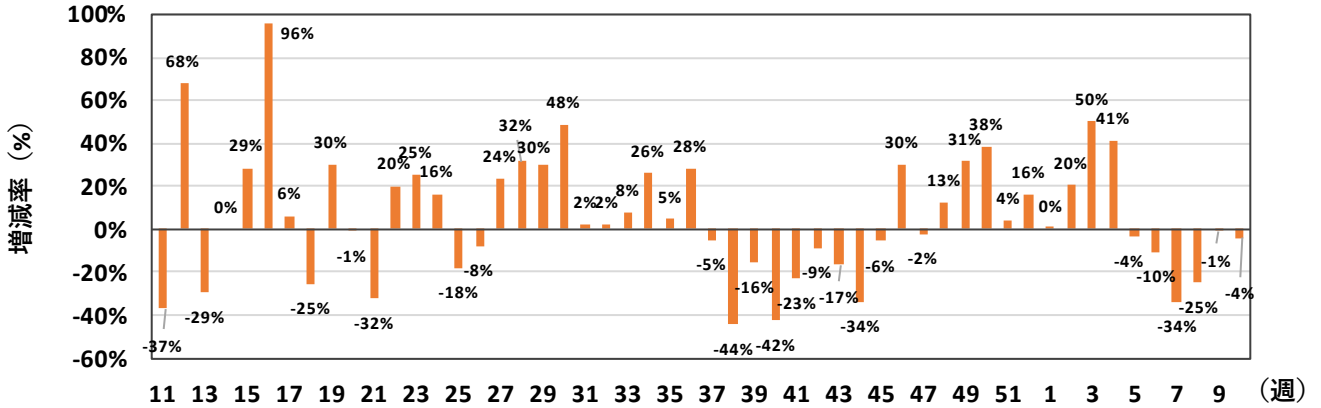


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第10週）

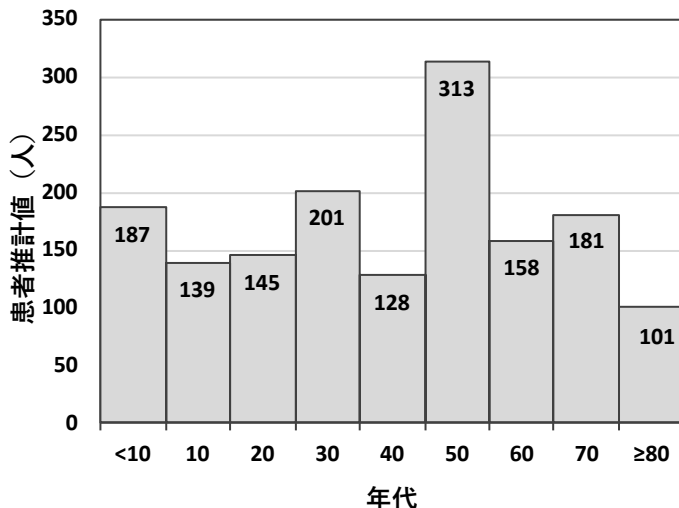


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第10週）

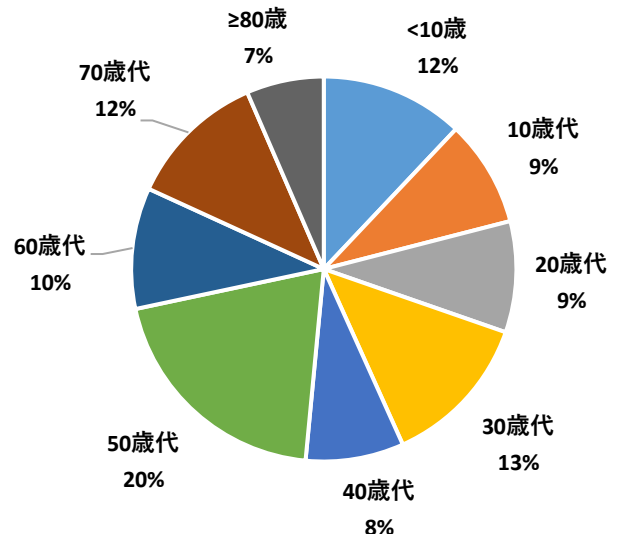


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

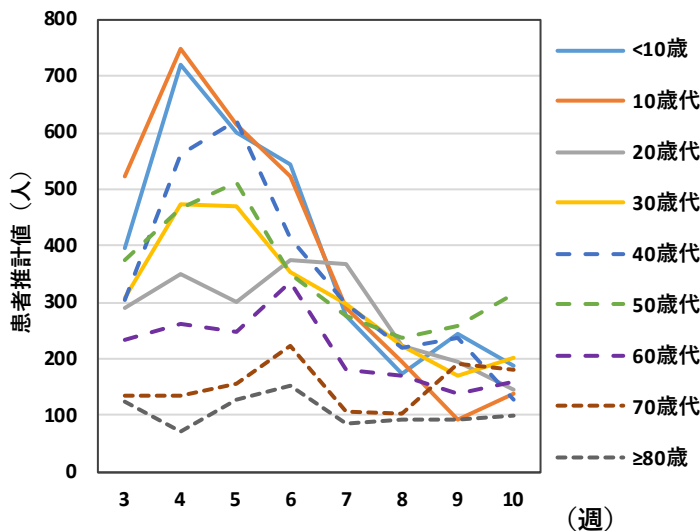
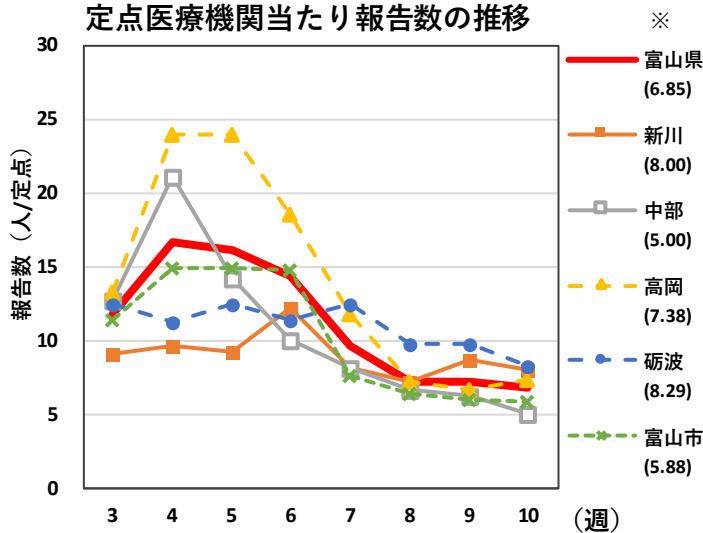


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移



※ ( ) 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第10週、60例）

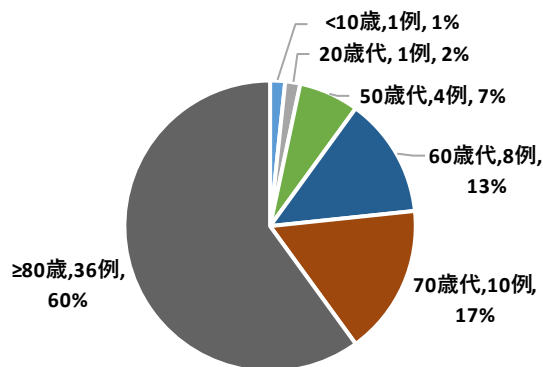
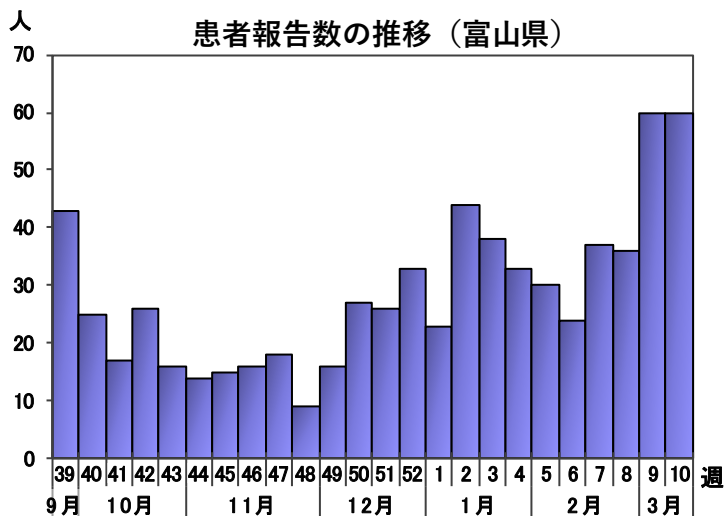


図8.COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）



第10週（3/4～3/10）時点での所見と評価

- 第10週の定点医療機関当たり報告数は6.85人、新規患者推計値は1,553人であった。前週推計値（第8週、1,619人）から4%減少した（図1、2）。
- 第10週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く20%を占め、次いで30歳代（13%）、10歳未満（12%）の順であった。60歳以上の割合は29%で先週（26%）からやや増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳代、50歳代で増加がみられ、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で6.85人/定点であり、先週（7.15人/定点）からやや減少した。すべての管内で先週から減少または横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第10週に60例の入院報告があり、先週（60例）と同等であった。年代分布では、70歳代が10例、80歳以上が36例で、70歳以上が77%を占めた。10歳未満、20歳代の報告がそれぞれ1例あった（図7、8）。
- 2023年45週以降、継続的に増加していたCOVID-19の患者報告数は、2024年第4週をピークに第8週まで減少傾向が継続していたが、先週、今週と概ね横ばいとなった。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。